

もりふれ倶楽部通信 NO. 22

コハウチワカエデ（小羽団扇かえで）

NPO法人もりふれ倶楽部理事長 横原道夫



空梅雨といわれる気候の中、またゲリラ型の大雨が襲い掛かり、私たちの身近なところでも土砂崩れの通行止めが見られました。水不足と集中豪雨、なんともへんてこりんな組み合わせの気候変動が私たちの生活を脅かせます。これも地球温暖化のつけの一つでしょうか。

この地球温暖化の防止、地球環境悪化の解決に貢献するよう、いまはやりのエコ生活を推進して家計の節約にも結びつく、環境省が推奨し普及を図っている施策の一つに、家庭で使う電気、ガス、水道、ゴミ、ガソリン・・・等の量にCO₂排出係数をかけてCO₂の量に換算し、各家庭の通常的生活が地球環境、特に温暖化にどれだけの影響を与えているかを考える家計簿が考案されています。それを「環境家計簿」と呼んでいます。

この環境家計簿の普及キャンペーンの一環として、去る3月中旬、もりふれ倶楽部の活動拠点 ふるさと森林公園内の第一展望台の西側斜面、出雲平野を眺める絶景ポイントの一部に「コハウチワカエデ」50本 希望者を募って植樹しました。

現在のところ この50本は順調に芽吹き、新葉を展開して生育しています。2020年頃の秋には、この場所が 雄大な眺めをバックに素晴らしい紅葉の名所になっているものと期待しています。

コハウチワカエデ（カエデ科）

落葉高木、葉の径は7cm前後、7~11裂に浅く裂ける。若枝はやや紅色を帯び、白い毛に被われるが次第にとれる。紅葉が美しいので、庭木としても植えられているなじみの もみじです。

県内の山々にも多く自生し、よくヤマモミジの名前で親しまれていますが、本物のヤマモミジは北陸や東北、北海道に分布し、島根県では自生が非常に少ないようです。ヤマモミジは葉の中裂が通常7裂で、コハウチワカエデは少し多く9~11裂になります。皆さんがヤマモミジとして親しんでおられる もみじの大部分はこのハウチワカエデであると思われます。

天狗がもっている鳥の羽で作られたうちわ(団扇)に似た葉を持つ ハウチワカエデ(葉の径が12cm前後で大形、中国地方では1000m前後の深山に多く見られます)に似て、葉が小形なのでこの名前がつけました。

皆さん、長生きして10年後、20年後の美しい森を楽しんでください。

10月31日(土)夕方、全林研会長、田中惣次氏、島根県立ふるさと森林公園学習展示館にて講演予定です。詳細は次号で紹介させていただきます。



心を込めて整備された山林には多様な植物が



「遊学の森」には多くの森林ボランティアが



森に学ぶ

～ 人間は樹木に期待されているのです～

出雲市樹医 勝部治良

毎年この6月から7月にかけての2ヶ月間が最も樹勢が旺盛で植物がエネルギーを循環するといわれています。

植物生理学的にも日光と水分そして気温が生長環境を程良く形成しているからでしょう。一方人間にとってもこの時期は梅雨期といわれるが、恵みの雨と理解し24節気の一つ“夏至”（6月21日）はまさしく精神的にも陽気な雰囲気になり昼の時間を楽しむものである。

この時期だからこそ森に学ぶ第一歩がCO²の問題だと思えます。いよいよ目に見えない現象が社会問題として“樹木”を主人公に仕立上げてくれました。戦後60年これ程までに森林が生命体として脚光を浴びることは無かったですでしょう。

『樹木は、デンプン・セルロース1kgを生産するのに1.6kgのCO²を吸収し、1.2kgの酸素を放出する』ことが知られています。

そしてCO²の吸収・固定に対しては、一般に年間の純正産量（総光合成量から呼吸消費量を引いたもの）が多いものほど有利に働きます。つまり環境改善機能は、小さい樹木が大きくなる過程（15年生から50年生位）において最も発揮されます。老木・大きな樹木を植栽するのは改善効果が薄い。このように目に見えない大気量を重量kgの単位で表示して樹木の役割が認知されつつあります。二酸化炭素CO²は大気中の体積化は1パーセントにも満たない0.035%しかありません。私たちが呼吸する大気のほとんどは窒素（78%）と酸素（21%）ですが大気と生命が常に相互作用し、現在のような生命を育む大気圏が植物の光合成作用で出来たことを思うと樹木の緑に感謝せずにいられません。

樹木の働きをもっとわかりやすく言えば樹木の団体（固定化された炭素）1kgと生物が呼吸するのに必要な酸素1.2kgを合わせて2.2kgを供給してくれます。その源泉が1.6kgのCO²と水（H₂O）0.6kgとなり、この自然界は常にバランスしていることが理解できます。

このように森林環境学と地球を癒す考え方が次第に広まることにより、近代の科学的研究の説明できない分野にまで自然界の循環（生命の息吹）がようやく人間世界に潜入してきました。まさしくこの現象を樹木たちは私たちに期待をしていたのではないのでしょうか。



平成21年度 もりふれ倶楽部の歩み

5月17日 第1回里山自然塾

～新緑の草木でコケ玉をつくろう！～

島根県緑化センターからの委託事業、第1回里山自然塾「新緑の草木でコケ玉をつくろう」を開催しました。強い雨と風のため、散策は中止となりましたが、里山の植物でコケ玉2種をつくりました。また、間伐材のコケ玉スタンドづくりのおまけとクロモジのお茶も味わいました。講師 楨原道夫、中村正志、伊原千里、

ボランティア 正木勉、竹下健二



5月19日 出雲市乙立幼稚園対応

ふるさと森林公園学習展示館において、乙立幼稚園の先生、保護者、園児に対して、森の話と木切れでの動物作り体験の指導を行いました。木切れでの動物作りは、子供はもちろんのこと、保護者の方も童心に返って、作品作りに没頭していました。事務局対応



5月20日 出雲市遥堪コミュニティセンター対応

ふるさと森林公園学習展示館において、出雲市遥堪コミュニティセンター「郷土の自然と植物ウォッチング」の一環として、参加者約20名に対して、里山保全活動の大切さの話とコケ玉作り体験の指導を行いました。指導 伊原千里、宮崎徳子



5月31日 第1回ネイチャーゲーム教室

ふるさと森林公園において、第1回ネイチャーゲーム教室を開催しました。参加者は、用意された足跡を歩きつつ、ヒントから推理して動物を当てたり、虫眼鏡を使ってアリの気持ちになって冒険をしたりして、子供から大人まで、自然とのふれあいを、時間を忘れて楽しみました。指導 遠藤正資

6月6日 第2回ネイチャーゲーム教室

ふるさと森林公園において、第2回ネイチャーゲーム教室を開催しました。今回は、目隠しをしてロープをたよりに木々の中を歩いて行きながら、肌で自然を感じる体験や、音を記号や絵で表して五感を使ったネイチャーゲームを楽しみました。

指導 野田真幹、野田あや子



6月7日 第2回里山自然塾

～里山の自然で草木花染め～

フジの葉、ヤシャブシの実、ヒノキの皮等を素材に、ミョウバン、銅、鉄を媒染（色止め）に活用し、それぞれの変化を楽しみました。午後は気に入った素材でハンカチを染めました。フジの葉がとても人気でした。今月の草木茶としてアカメガシワを炒ったお茶を楽し



みました。 講師 影山和美

6月13日 森林ボランティア

奥出雲上阿井林地で、緑の募金の助成を得て、宍道湖・中海ラムサール条約登録記念植樹地の下刈を行いました。

スタッフ 岡田邦博、竹田正彦、響 繁則、松本尚子、野田あや子、野田真幹



6月14日 自然観察会

ふるさと森林公園において、第1回親子のための自然観察会を開催しました。あいにく地元宍道小学校の運動会と重なってしまいましたが、13名が参加されました。子供たちは虫や植物、色々なものに関心を示しました。

指導 中村正志



6月21日 森林ボランティア



飯南町上来島林地において、「ヒノキの香りを楽しむセラピーの森づくり」イベントを開催しました。内容は、森によるセラピー体験、セラピーの森自然観察会、作業（間伐木の選木、昨年枝打ちした枝の集積、おとし間伐した場所に残す植物の選定）でした。スタッフの一部は、前日よりセラピーの森に泊まり込み、準備をしました。

スタッフ 榎原道夫、岡田邦博、中村正志、竹下健二、福岡茂明 松本尚子、玉野英敬 野田真幹



6月25日 島根県緑の少年団総会後の研修

島根県緑の少年団総会後の研修として、事務局長の野田が「子供達とできる自然体験・自然工作の紹介」というテーマで講演を行いました。



6月28日 樹木観察 in 城山公園

松江市と共同主催で、「樹木観察会 in 城山公園」を開催しました。約40名の参加者は、4班に分かれて、身近な公園の樹木を改めて見直しながら観察しました。

スタッフ 福岡茂明、竹田正彦、廣江百合子、中村正志、洲濱寿晴、坂本英希、野口朱美、常盤貴之、高橋光二、難波徹、野田真幹、宮崎徳子

6月28日 第2回里山ものづくり体験

ふるさと森林公園において、学習展示館来館者の希望者に対して、「第2回里山ものづくり体験」として、爪楊枝・フォーク等のクロモジ細工づくり体験を実施しました。尚、参加者にはクロモジ茶も試飲してもらいました。



指導 岡田邦博 ボランティア 野田あや子

もりふれ倶楽部今後の予定

- 7月5日(日)第3回里山自然塾「間伐材の和紙アラカルト」10時～15時
学習展示館 参加者募集 参加費300円 募集人数20名
- 7月25日(土)里山ものづくり「竹細工」15時～18時
参加者募集 学習展示館 参加費 300円
会員ボランティア募集 ボランティア集合14時
- 7月26日(日)自然観察会(大人向き)6時30分～8時30分 参加者募集
学習展示館 参加者集合6時30分 参加費100円
会員ボランティア募集 ボランティア集合6時学習展示館
- 7月26日(日)ネイチャーゲーム教室 15時～17時 参加者募集
学習展示館 参加費100円
- 8月2日(日)里山自然塾「夏休み親子木工教室」 10時～15時
学習展示館 参加者募集 参加費1組300円 親子15組
- 8月9日(日)自然観察会 (親子向き)6時30分～8時30分 参加者募集
学習展示館 参加者集合6時30分 参加費100円
会員ボランティア募集 ボランティア集合6時学習展示館
- 8月22日(土)里山ものづくり「竹のキャンドルセードづくり」15時～18時
参加者募集 学習展示館 参加料300円
会員ボランティア募集 スタッフ集合14時学習展示館
- 8月23日(日)ネイチャーゲーム教室 9時～11時 参加者募集
学習展示館 参加費100円
- 9月5日(土)飯南セラピーの森野宿 18時～ 参加者募集
集合現地18時、道の駅とんばら17時30分 各自野宿用具を持参
参加費千円(夕食懇親会費)
- 9月6日(日)森林ボランティア 飯南セラピーの森 10時～15時 参加者募集
集合 道の駅とんばら9時30分 現地10時 参加費500円 昼食代
会員スタッフ募集 スタッフ集合 道の駅とんばら9時 現地9時30分
- 9月13日(日)ネイチャーゲーム教室 14時～16時 参加者募集
学習展示館 参加費100円

もりふれ倶楽部では、活動を支えてくださる会員を常に募集しています。入会金千円年
会費2千円です。

もりふれ倶楽部会報

NO. 22

〒699-0406

松江市宍道町佐々布3352ふるさと森林公園学習展示館内もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.morifure.jp/>